

学習指導要領		都立芝商業高校 学カスタンダード
A 話すこと ・ 聞くこと	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>調べた内容を参考にして自分の考えをもち、根拠に基づいて話すことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会問題などについて、調べた内容を参考にして自分の考えをもつことができる。 ・根拠を示しながら自分の考えを話すことができる。 <p>目的や場に応じて、分かりやすく適切な言葉遣いで話したり、メモを取りながら聞き取ったりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介のスピーチなどで、何のために誰に向かって話すのかを考えて、言葉を選んで話すことができる。 <p>相手の考えを受け止め、自分の考えを説明し、円滑に話し合うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの話し合いなどで、相手と自分の共通点や相違点をとらえることができる。 <p>自己評価や相互評価を通して、自分の話し方や言葉遣いを見直し、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p>

学習指導要領		都立芝商業高校 学カスタンダード
B 書く こと	<p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や場に応じた語句の使い方、態度、論の構成など、自己や他者の良い点・直すべき点を指摘することができる。 <p>誰に向かって何のために書くのかを考え、題材や文章の形態にふさわしい文体や語句を用いて書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた題材に即して、自分が体験したことや考えたこと、身の回りのことなどから、相手や目的に応じた材料を収集することができる。 ・常体と敬体を区別し、どちらかに統一することができる。 ・語句や言い回しの重複を避けることができる。 <p>論理の構成や展開の仕方について知り、自分の考えをその根拠と結び付けて文章にすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「序論－本論－結論」を意識して600字程度の文章を書くことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・事実・意見・引用を区別し、根拠を示しながら自分の考えを明確にすることができる。 <p>説明や描写の違いなどを知り、相手や目的を意識した表現の仕方を書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実や事柄などを具体的に説明したり、手順や理由などを順序立てて説明したりすることができる。 ・情景や人物、心情などを、読み手が想像しやすいように描写することができる。

学習指導要領		都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>		<p>自他の文章への評価を通して、自分の表現を見直し、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成の仕方や語句の使い方などの良い点・直すべき点を指摘することができる。
<p>C 読 む こ と</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p>		<p>【現代文】</p> <p>文章の形態（小説・評論・韻文など）や表現の特色を意識しながら読むことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比喩法（直喩・隠喩・擬人法）を知り、文章中の比喩を指摘することができる。 ・文章中のキーワードを指摘することができる。 ・小説の表現や韻文のリズムを、音読を通して味わうことができる。 <p>【古典】</p> <p>比較的短く平易な文章について、文章の形態の違いを区別し、表現技法や語句の使い方に注意して読むことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>古文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いに注意して音読することができる。 ・物語・随筆・日記・和歌などを区別することができる。 <p>漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の基本的なきまり（訓点・再読文字・置き字・句法など）に従って音読することができる。 ・詩の形態や押韻を指摘することができる。
<p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p>		<p>【現代文】</p> <p>文脈をとらえ、筆者の考えなどを読み取ったり要約したりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章中のキーワードを指摘することができる。 ・文章中の指示語や接続詞を意識して読むことができる。

学習指導要領	都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>	<p>・筆者の主張と具体例とを区別し、主張を中心に要約することができる。</p> <p>【古典】 教科書に取り上げられている、比較的短く平易な文章を、基本的な文語のきまりや訓読のきまりに注意して、傍訳などの助けを得ながら、読み取ることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>古文</p> <p>・基本的な用言・助動詞・敬語、係り結びなどを理解する。</p> <p>漢文</p> <p>・訓点や基本的な再読文字（未、将など）・置き字（於、而など）・句法（不、使など）について理解する。</p> <p>【現代文】 登場人物を押さえ、行動や心情の変化をとらえることができる。</p> <p>登場人物の心情が情景描写にしばしば反映・象徴されることを理解する。</p> <p>《具体的な設定例》 芥川龍之介『羅生門』などで</p> <p>・各場面での登場人物の言動と心情を読み取ることができる。</p> <p>・[*]比喩表現などから状況や心情をとらえることができる。</p> <p>【古典】 教科書に取り上げられている、比較的短く平易な文章の場面や人物を押さえ、誰が、どうしたという流れを読み取ることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p>

学習指導要領	都立芝商業高校 学力スタンダード
<p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p> <p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>	<p>古文</p> <p>『宇治拾遺物語』『児のそら寝』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> 人物（誰が）、場面（いつ、どこで）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。 児が心の中で思った部分を指摘することができる。 <p>漢文</p> <p>李白「静夜思」などで</p> <ul style="list-style-type: none"> 人物（誰が）、場面（いつ、どこで）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。 作者の心情を理解する。 <p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について考えたり、書き手の主張をとらえたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 各段落の働きを理解し、段落相互の関係を読み取ることができる。 情景や心情の変化に注意して、作品全体の筋（ストーリー）をとらえることができる。 用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・^比喩などの表現技法を指摘することができる。 具体例と意見を区別しながら、書き手の考えの強調点をとらえることができる。 <p>様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を評価し、自分の考えをもつことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な形態（文学的な文章・論理的な文章・実用的な文章など）や、幅広い内容・分野（芸術・社

学習指導要領	都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>	<p>会学・自然科学など)の本や文章を読むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り利用することができる。 ・読んだ文章を評価することを通して、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。 <p>日本の伝統的な言語文化について基本的な事柄を知り、また外国の文化の影響に気付くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の朗詠・贈答の慣習、三大集（万葉・古今・新古今）を知る。 ・基本的な古典知識（月の異名、十二支など）を知る。 ・中国の文字や書物の影響のうち基本的なもの（故事成語など）を知る。 <p>基本的な文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を行うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣い、基本的な用言の活用（「活用表が完成できる」など）、基本的な助動詞（「ず」「けり」など）、係り結び、敬語などを理解する。 ・訓点や基本的な再読文字（未、将など）・置き字（於、而など）・句法（不・使など）について理解し、訓読したり書き下し文に改めたりすることができる。

学習指導要領	都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>	<p>【現代文】 語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて基本的な事柄を知り、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について基本的な事柄に気付き、活用することができる。 《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟語の主語・述語や修飾、被修飾の関係などを理解する。 ・和語、漢語、外来語の区別ができ、効果の違いを知る。 ・言語の主要な機能（認識、伝達、思考、想像など）を理解する。 <p>【古典】 言葉の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について基本的な事柄を知る。 《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読むことができる。 ・基本的な古今異義語（うつくし、をかしなど）の意味の違いを知る。 <p>【現代文】 文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて基本的な事柄を知り、活用することができる。 《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な文について、文の成分（主語、述語、修飾語など）を指摘することができる。 ・比較的平易な文章の段落構成（序論・本論・結論、起承転結など）を理解する。 ・比較的平易な文章について、語句の意味・用法を理解する。 ・説明的文章に使用される語句のうち、基本的なもの（客観、理性、メカニズム、メディアなど）の意味を理解する。

学習指導要領	都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>【古典】 古語辞典や漢和辞典を引くことができ、基本的な古語や漢語の意味を知る。 《具体的な設定例》 ・基礎的な教科書に取り上げられている、基本的な古語（遊び、いらふ、ありがたし、やがてなど）40 語程度の意味を知る。 ・基礎的な教科書に取り上げられている、基本的な漢語（不、使、也、欲、乃など）20 語程度の意味を知る。</p> <p>常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表の漢字 1006 字を含む 1300 字程度を書くことができ、文や文章の中で使うことができる。</p>

学習指導要領	都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・論説や評論において、逆説や対比の関係、キーワードをとらえることができる。 ・詩や小説において、場面や人物などの設定を通して全体の骨組みやその展開の仕方をとらえることができる。
<p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評論において筆者の主張を抜き出すことができる。 ・小説、詩で人物の心情や情景、言動に着目して読解をすすめることができる。
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評論文を読んで、筆者の意見に賛成、反対の立場を取り、その根拠を示すことができる。 ・文章を読んで身近な経済、社会、自然などを深く考察することができることを学ぶ。
<p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身近な生活の中から課題点を見つけ、それに対する解決方法を、図書館等から探す方法を学ぶ。 ・作成した資料を活用して、自分の考えを表現することができる。
<p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評論文における基本的な語句の意味・用法を理解し、また用いることができる。 ・テレビのニュース番組や新聞記事などの概要を理解することができる。 ・比喩、反復、倒置、省略、対句などについて知り、文章中の技法のうち基本的なものを指摘し、自らも用いることができる。

学習指導要領		都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>(1) 世界の歴史へのいざない</p>	<p>ア 自然環境と歴史 歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。</p> <p>イ 日本列島の中の世界の歴史 日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とながっていることに気付かせる。</p>	<p>[大河流域の生活と歴史] ・大河流域に形成された古代文明周辺の自然環境の特色と人類の生活や活動との関わりについて知る。</p> <p>[海洋の生活と歴史] ・漁撈や交通・交易の場としての海洋の特色と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。</p> <p>[草原の生活と歴史] ・内陸アジア北部にひろがる大草原の自然環境の特色と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。</p> <p>[オアシスの生活と歴史] ・内陸アジア南部などの砂漠に点在するオアシスの自然環境の特色と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。</p> <p>[森林の生活と歴史] ・熱帯林・温帯林・亜寒帯林など様々な森林と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。</p> <p>[日本と世界の人々との交流] ・日本列島を訪れたり、日本列島から海外に渡ったりした使節や僧侶、商人などを通して、世界との関係や交流の足跡を知る。</p> <p>[外来の道具や技術の伝播]</p>

学習指導要領	都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>(2) ア ユーラシアの諸文明</p> <p>世界 の 一 体 化 と 日 本</p> <p>自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来の生活・祭祀道具や栽培植物，技術，日本列島内の各地や身近な地域に残されている遺跡や遺物などについて知る。 [日本の文化や生活] ・ 日本列島内の各地や身近な地域に残る祭礼や伝説，年中行事，歳時記，文字，暦などについて知る。 [日本に伝来した外来の宗教] ・ 仏教やキリスト教など外来の宗教を通して日本と世界のつながりを知る。 [東アジアの文明] ・ 漢字，儒教，中国を中心とした国際体制などいくつかの事例を通して，日本を含む東アジアに形成された文明の特質を知る。 [南アジアの文明] ・ 仏教とヒンドゥー教，カースト制度，イスラームの影響などいくつかの事例を通して，南アジアに形成された文明の特質を知る。 [西アジアの文明] ・ 古代オリエントの遺産，イスラーム教などいくつかの事例を通して，西アジアに形成された文明の特質を知る。 [ヨーロッパの文明] ・ 古代ギリシア・ローマの遺産，キリスト教などいくつかの事例を通して，ヨーロッパに形成された文明の特質を知る。 [諸地域世界の交流] ・ 世界が一体化に向かう前段階として，8世紀以降のユーラシア地域間交流について知る。

学習指導要領	都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>イ 結び付く世界と近世の日本 大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16 世紀から 18 世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。</p> <p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p>	<p>[世界の一体化とヨーロッパ] ・ヨーロッパでのルネサンスや宗教改革などの動きや、大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアとの接触・交流について知る。</p> <p>[アジアの諸帝国] ・16 世紀から 18 世紀までのアジアの諸地域が、安定した支配と経済の繁栄を背景に全盛時代を迎えたことを知る。</p> <p>[ヨーロッパの主権国家体制] ・ヨーロッパの主権国家体制の特質について知る。</p> <p>[大西洋三角貿易とアフリカ・アメリカ社会の変容] ・大西洋三角貿易の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容について知る。</p> <p>[世界の一体化の動きと近世の日本] ・16 世紀から 18 世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本について知る。</p> <p>[産業革命と資本主義の確立] ・産業革命と資本主義の確立について知る。 ・資本家・労働者の立場が形成され、労働や社会生活の在り方が変化したことを知る。</p> <p>[フランス革命とアメリカ諸国の独立] ・フランス革命とアメリカ諸国の独立について知る。</p> <p>[自由主義・国民主義の進展] ・自由主義と国民主義の進展について知る。 ・19 世紀のイタリア・ドイツの統一について知る。</p> <p>[アメリカ合衆国の発展] ・アメリカ合衆国の西部への領土拡張と移民の流入、先住民やアフリカ系の人々に対する抑圧、南北戦争後の急速な工業化について知る。</p>

学習指導要領		都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本</p> <p>ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中で日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p>	<p>[アジア諸国の変貌]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18世紀後半から19世紀までのアジア諸国の状況と、ヨーロッパ諸国の進出によって引き起こされた変化について知る。 ・18世紀後半から19世紀までのアジア諸帝国の動揺と、それに対する社会変革へのアジアの主体的な動きについて知る。 	
<p>(3) ア 急変する人類社会</p> <p>地球社会と日本</p> <p>科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。</p>	<p>[日本の開国と近代化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19世紀の世界の一体化と日本の開国・明治維新について知る。 <p>[第二次産業革命]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次産業革命による交通・通信・マスメディアの発達や、企業の巨大化、国家の役割の増大、公教育の普及について知る。 <p>[国際的な移民の増加]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19世紀後半から国際的な移民が増加したことを知る。 <p>[大衆社会の出現]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大量生産・大量消費社会の登場により、大衆社会が誕生したことを知る。 	
<p>イ 世界戦争と平和</p> <p>帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p>	<p>[帝国主義]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義諸国の抗争と日本を含むアジア・アフリカの対応について知る。 <p>[第一次世界大戦とロシア革命]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦が始まった原因と性格について知る。 ・大戦中にロシアで社会主義革命が起こったことを 	

学習指導要領	都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>ウ 三つの世界と日本の動向</p> <p>第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p>	<p>知る。</p> <p>[第一次世界大戦後の国際秩序]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際連盟やヴェルサイユ体制・ワシントン体制の理念について知る。 ・ アジア諸地域の民族運動が高揚したことを知る。 <p>[世界恐慌とファシズムの台頭]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界恐慌とその対応が、ファシズムの台頭や新たな国際対立を生み出したことを知る。 ・ 東アジアにおける日本の動向について知る。 <p>[第二次世界大戦]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次世界大戦について、戦争の被害の甚大さや戦争の複合的な性格について知る。 <p>[冷戦のはじまり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米ソ両陣営の対立による冷戦の構図について知る。 <p>[第三世界の台頭]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アジア・アフリカの植民地支配からの解放、第三世界の形成について知る。 <p>[1960年代の世界]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米ソ両国の指導力低下に伴う多極化について知る。 <p>[市場経済のグローバル化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドル危機や石油危機など 1970 年代の経済構造の転換について知る。 <p>[冷戦の終結と社会主義体制の崩壊]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冷戦の終結と社会主義体制の崩壊について知る。 <p>[地域統合の動き]</p>

学習指導要領	都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>エ 地球社会への歩みと課題 1970 年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p> <p>オ 持続可能な社会への展望 現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ EU などの地域統合の進展について知る。 <p>[地域紛争の頻発]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界各地で頻発している地域紛争の原因が多様であることを知る。 <p>[地球社会の歩みと課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境や資源・エネルギーをめぐる問題など現代的課題について知る。 <p>[持続可能な社会への展望]</p> <p>持続可能な社会の実現のためには、環境の保全、経済の開発、社会の発展をそれぞれの調和の下に進めていく必要があることを理解し、歴史的視野からそれらの問題に関する認識を深め、世界の人々が協調し、共存できる持続可能な社会の実現について展望する。</p>

<p>(1) 私たちの時代と歴史</p>	<p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。</p> <p>開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の関連を重視して考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における諸課題の根源的な原因は、歴史的事象に起因するものであることに気付かせ、歴史学習への関心を高めるとともに、その意義について自覚する。 ・近現代の政治や経済、文化などの諸事象が相互に有機的に関連していることに気付く。
<p>(2) 近代の日本と世界</p>	<p>ア 近代国家の形成と国際関係の推移</p> <p>(ア) 近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。</p> <p>(イ) 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に注目して、国際環境や政党政治の推移について考察させる。</p> <p>イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢</p> <p>(ア) 産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と</p>	<p>[近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界史学習との関連の中で、当時のアジア諸国の実情を知る。 <p>[文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の国民生活との関連の中で、当時の日本の実情を知る。 <p>[自由民権運動と立憲体制の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の国民政治との関連の中で、当時の日本の実情を知る。 <p>[条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際環境の変化の中で、日本の政治や外交がどのように変化したのかを知る。 <p>[政党の役割と社会的な基盤]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際環境の変化の中で、当時の政党の持つ社会的意義について知る。 <p>[産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生]</p>

<p>社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成に着目して、近代産業の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>(イ) 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。</p> <p>ウ 近代の追究</p> <p>近代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深くかかわっているという観点から、産業と生活、国際情勢と国民、地域社会の変化などについて、具体的な歴史的事象と関連させた適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を育てる。</p> <p>第二次世界大戦後の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、現代の諸課題と近現代の歴史との関連を重視して考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命の進行による、国民生活の変化の実情とそれに伴って発生した社会問題の実情について知る。 <p>[学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校制度の普及と大衆文化の形成の関連について知る。 <p>[諸国家間の対立や協調関係と日本の立場]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の世界史の知識も復習しながら、特に欧米諸国とアジア近隣諸国との関係の変化の背景について知る。 <p>[国内の経済・社会の動向]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際情勢の変化に伴う国内情勢の変化について知る。 <p>[産業と生活、国際情勢と国民、地域の変化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治経済、国際環境、国民文化などの相互関連のもとに産業、国際情勢、地域などに多彩な変化が訪れたことを知る。 <p>[現代の諸課題と近現代の歴史との関連]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この時代の諸事象の変化が、現代社会の諸問題と関連性を有していることを知る。
<p>(3) ア 現代日本の政治と国際社会</p> <p>現代の日本と世界</p> <p>占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p> <p>イ 経済の発展と国民生活の変化</p> <p>戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p>	<p>[占領政策と諸改革、新憲法の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時の内政事情を知る。 <p>[平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時の外交事情を知る。 <p>[戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後経済史について、大局的な視点から知る。

ウ 現代からの探究

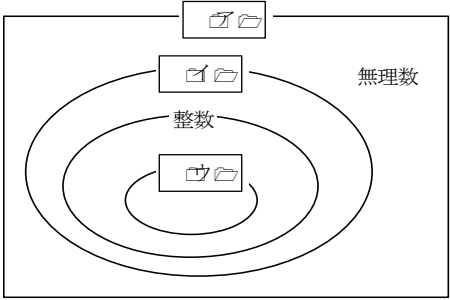

現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身につけさせる。

[生活意識や価値観の変化]

- ・戦後生活史について、身近な視点から知る。
- ・身近な現代社会の諸問題について、歴史的視点から現状把握と解決策の模索を図

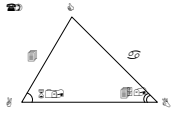
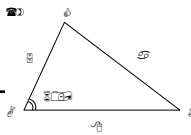
学習指導要領		都立芝商業高校 学カスタンダード
(1) 私たち の 生 き る 社 会	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地球規模で広がる環境問題や資源エネルギー問題について学び今後の対策について考えさせる。 ・大量に情報が氾濫する現代社会においてどのように情報を取捨選択し、適切に判断すべきかを考えさせる。
(2) 現代 社 会 と 人 間 と 生 き 方	<p>現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。</p> <p>ア 青年期と自己の形成 生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義 基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生命に対する尊重と畏敬の精神をもたせるとともに科学技術の発展にともなう倫理的課題について考えさせ、人間の尊厳と誰しも平等であることを理解させ、差別のない社会に向けて何ができるかを考えさせる。 ・青年期の特徴について考察し、自分のおかれている状況を理解させる。 ・身の回りのものと関連づけながら、日本の生活文化や伝統文化について理解させる。 ・基本人権の確立の歴史を学び現代の人権保障の特徴を理解させる。 ・日本国憲法と大日本帝国憲法を比較して相違点を理解させる。 ・日本国憲法の三大原則を理解させ象徴天皇制の下で天皇の役割を理解させる。 ・日本国憲法で保障されている人権についてその内容を理解させる。 ・日本の政治制度を理解させる。 ・日本国憲法の平和主義と第9条について戦後の変遷に触れながらその意義について考えさせる。 ・政党政治の意義と選挙の制度や課題について理解させる。

学習指導要領	都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>(3) 共に生きる社会を目指す</p> <p>ウ 個人の尊重と法の支配 個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p> <p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方 現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p> <p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割 グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p> <p>持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法第13条の個人の尊重の意義を理解させ、個人の生命・自由及び幸福追求の権利は最大限尊重されなければならないことを理解させる。 ・社会生活おける、自由と責任・権利と義務について考えさせる。 ・法の役割と法の支配の意義を理解させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・市場メカニズムなど経済の基礎的な仕組みと概念を理解させる。 ・景気や物価の変動の原因を理解させる。 ・GDP等の経済指標について理解させる。 ・金融・財政の働きと金融政策・財政政策について理解させる。 ・社会保障政策の発展の歴史を理解させ現代の課題について考えさせる。 ・労働者の権利を理解させ現代の諸課題について考えさせる。 ・国際社会の成り立ちと、近年のグローバル化について理解させる。現代のグローバル社会では、人、商品、資本、情報などが国境を越えて自由に移動し国際的な相互依存関係が深まっていることを理解させる。 ・冷戦後の新しい国際秩序のあり方について考えさせ、人種や民族についての正しい知識と理解を深めさせる。異なる宗教や文化の尊重が人権保障と平和の道であることを理解させる。 ・核問題についての理解を深めさせ核兵器のない世界を実現するためにはどうしたらよいか考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化する世界の現状を理解させ共生社会の実現の必要性を理解させる。 ・持続可能な社会の実現のためには国際協力が不可欠であることを理解させ真の国際協力のあり方を考えさせる。

学習指導要領		都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>(1) 数と式</p> <p>ア 数と集合</p> <p>(ア) 実数</p> <p>数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自然数、整数、有理数、無理数の包含関係など、実数の構成を理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 次の空欄に適当な数の集合を記入せよ。</p>  </div> <ul style="list-style-type: none"> 実数と直線上の点が一対一対応であることを理解し、実数を数直線上に示すことができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 実数(1) 2.5, (2) π, (3) $-\sqrt{3}$ が対応する数直線上の点はどれか答えよ。</p>  </div> <ul style="list-style-type: none"> 無理数の加法及び減法、乗法公式などを利用した計算ができる。また、分母だけが二項である無理数の分母の有理化ができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(例1) $3\sqrt{18} - \sqrt{27} + \frac{\sqrt{6}}{2\sqrt{2}}$ を計算せよ。</p> <p>(例2) $(3\sqrt{2} - \sqrt{6})^2$ を計算せよ。</p> <p>(例3) $\frac{1}{\sqrt{5} + \sqrt{3}}$ の分母を有理化せよ。</p> </div>	

学習指導要領	都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>(イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p> <p>(イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>	<p>この単元は扱わない</p> <p>・ $(ax+b)(cx+d) = acx^2 + (ad+bc)x + bd$ などの基本的な公式を活用して、二次式の展開や因数分解ができる。また、式の置き換えや一文字に着目するなどして、展開・因数分解ができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 次の間に答えよ。</p> <p>(1) $(3x-2a)(4x-3a)$ を展開せよ。</p> <p>(2) $2x^2 - 7x + 3$ を因数分解せよ。</p> <p>(3) $xy - x - y + 1$ を因数分解せよ。</p> <p>(4) $(x+y)^2 - 4(x+y) - 5$ を因数分解せよ。</p> </div> <p>・ 数量の大小関係についての条件を不等式で表すことができ、大小関係を処理する上での基本となる不等式の性質を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) $a < b$ のとき、次の□の中にく、>のいずれかの記号を記入せよ。</p> <p>(1) $a+2 \square b+2$ (2) $a-3 \square b-3$</p> <p>(3) $a \times 2 \square b \times 2$ (4) $\frac{a}{-3} \square \frac{b}{-3}$</p> </div> <p>・ 不等式の解の意味を理解するとともに、不等式の性質を利用して、一次不等式や連立不等式を解くことができる。また、日常的な簡単な事象について一次不等式や連立不等式を活用することができる。</p>

学習指導要領	都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>ア 三角比 (ア) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。</p>	<div data-bbox="807 495 1347 958" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>(例 1) 不等式 $3(3-2x) \leq 4-3x$ を解け。</p> <p>(例 2) 連立不等式 $\begin{cases} 6x-9 < 2x-1 \\ 3x+7 \geq 4(2x+3) \end{cases}$ を解け。</p> <p>(例 3) 1枚 2g のカードを 7g の封筒に入れて、30g 以内にして送りたい。 カードは、最大何枚入れて、送ることができるか。</p> </div> <p>・鋭角の三角比の定義を、直角三角形の辺の比と角の大きさとの間の関係として理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができるとともに、身近な事象に活用できる。</p> <div data-bbox="807 1285 1347 1525" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>(例) 鉄塔を支えるために、50m のロープを地上の A 地点から鉄塔の先端 B まで張った。先端 B の真下の地点を H とするとき、$\angle BAH = 40^\circ$ であった。塔の高さ BH を求めよ。</p> </div> <p>・三角比の相互関係を理解し、一つの三角比の値から残りの三角比の値を求めることができる。</p> <div data-bbox="807 1765 1347 1955" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>(例) $C = 90^\circ$ である直角三角形 ABC において、$\cos \theta = \frac{1}{5}$ のとき、$\sin A$, $\tan A$ の値を求めよ。</p> </div>

学習指導要領	都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>(イ) 鈍角の三角比 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めること。</p> <p>(2) 図形の計量</p> <p>(ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>	<p>・角と座標と関係を理解し、鈍角の三角比の定義が鋭角の三角比の定義の拡張であることを理解する。また、$180^\circ - \theta$ の三角比について理解し、鈍角の三角比を求めることができる（三角比の表を活用することも含む。）。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 次の図を用いて、$\theta = 120^\circ$ のときの $\sin \theta$, $\cos \theta$, $\tan \theta$ の値を求めよ。</p> <p>(例) θ が次のときの三角比の値を求めよ。 (1) 100° (2) 140° (3) 170° (4) 180°</p> </div> <p>・三角比の相互関係が $90^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ まで拡張されることを理解し、一つの三角比の値から残りの三角比の値を求めることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) $0^\circ \leq \theta < 180^\circ$ において、$\sin \theta = \frac{5}{13}$ のとき、$\cos \theta$, $\tan \theta$ の値を求めよ。</p> </div> <p>・三角形の辺と角の間に成り立つ基本的な関係として正弦定理及び余弦定理を理解し、正弦定理や余弦定理を利用して、辺の長さを求めることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 次の問に答えよ。</p> <p>(1) $\triangle ABC$において、$b = 4$, $A = 60^\circ$, $B = 45^\circ$ のとき、a を求めよ。</p>  <p>(2) $\triangle ABC$において、$b = 5$, $c = 8$, $A = 60^\circ$ のとき、a を求めよ。</p>  </div>

学習指導要領	都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>イ 図形の計量 三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。</p> <p>(3) 二 次 関 数 ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 図形の計量に、正弦定理・余弦定理が活用されていることを認識する。また、三角形の面積を二辺とその間の角によって求められることを理解し、測量で面積を求める際に有用であることを理解する。 関数の定義を理解し、基本的な事項（定義域、値域、座標平面等）を理解するとともに、座標平面上の点の平行移動や二次関数で表される事象を判断できる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 座標平面上の点 $A(2, 1)$ を x 軸方向に 2、y 軸方向に -3 だけ平行移動した点の座標を求めよ。</p> </div> 対称軸（直線 $x = p$）や頂点 (p, q) に着目して二次関数のグラフの特長を捉えることができ、二次関数 $y = ax^2 + bx + c$ を $y = a(x - p)^2 + q$ の形に変形し、二次関数のグラフをかくことができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例 1) 二次関数 $y = x^2 - 2x + 3$ について、次の問に答えよ。</p> <p>(1) $y = a(x - p)^2 + q$ の形に変形せよ。</p> <p>(2) 頂点の座標と軸の方程式を求めよ。</p> <p>(3) 二次関数 $y = x^2 - 2x + 3$ のグラフをかけ。</p> <p>(例 2) 次の空欄に適当な数値を記入せよ。</p> <p>「頂点が $(1, 2)$ となるように関数 $y = -2x^2$ を平行移動した二次関数の方程式は、$y = -2(x - \square)^2 + \square$ であ</p> </div>

学習指導要領	都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>イ 二次関数の値の変化</p> <p>(ア) 二次関数の最大・最小</p> <p>二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりする。</p> <p>(イ) 二次方程式・二次不等式</p> <p>二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。</p>	<p>・二次関数のグラフから頂点又は軸を境として、関数の値の増減が変化すること理解し、二次関数の最大や最小を考察でき、具体的な事象に活用できる（閉区間を含む。）。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 次の二次関数に最大値、最小値があればそれを求めよ。</p> <p>(1) $y=(x+2)^2-2$</p> <p>(2) $y=-(x+2)^2+2$</p> <p>(3) $y=x^2-4x+1 (0 \leq x \leq 3)$</p> </div> <p>・二次関数のグラフと x 軸との共有点の x 座標は二次方程式の解であることを理解し、x 軸との共有点の x 座標を求めることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 次の二次関数のグラフと x 軸との共有点の x 座標を求めよ。</p> <p>(1) $y=x^2-3x-4$</p> <p>(2) $y=x^2-4x+4$</p> </div> <p>・二次関数のグラフと x 軸との位置関係により、二次不等式の解の意味を理解し、二次関数のグラフを活用して、x 軸との共有点が 2 個である場合の二次不等式について解くことができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 次の二次不等式を解け。</p> <p>(1) $(x-1)(x-4)<0$</p> <p>(2) $x^2-x-2 \geq 0$</p> </div>

学習指導要領		都立芝商業高校 学カスタンダード
(1)	<p>ア 式と証明</p> <p>い (ア) 整式の乗法・除法、分数式の計算 ろ 三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすること。また、整式の除法や分数式の四則計算について理解し、簡単な場合について計算をすること。</p> <p>い (イ) 等式と不等式の証明 ろ 等式や不等式が成り立つことを、それらの基本的な性質や実数の性質などを用いて証明すること。</p> <p>イ 高次方程式</p> <p>(ア) 複素数と二次方程式 ろ 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。また、二次方程式の解の種類 の判別及び解と係数の関係について理解すること。</p> <p>(イ) 因数定理と高次方程式 ろ 因数定理について理解し、簡単な高次方程式の解を、因数定理などを用いて求めること。</p>	<p>整式の割り算の計算方法の理解 整式の割り算で成り立つ等式の理解と利用 分数式の基本的な四則計算の理解</p> <p>この単元は扱わない</p> <p>複素数の意味や表記の理解 複素数の四則計算 負の数の平方根 複素数まで拡張した場合の二次方程式の解法 二次方程式の解の種類と判別式との関係の理解 二次方程式の解と係数の関係の理解</p> <p>剰余の定理の理解と利用 剰余の定理から因数定理への流れの理解 組立除法の理解と利用 因数定理と組立除法を利用して、高次式の因数分解 高次方程式の解き方の理解</p>
(2)	<p>ア 直線と円</p> <p>図 (ア) 点と直線 形 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分 と する点の位置や二点間の距離を表すこと。また、座 方 標平面上の直線を方程式で表し、それを二直線の位</p>	<p>直線上での2点間の距離、内分点、外分点の理解 平面上での2点間の距離、内分点、外分点の理解 平面上での内分点、外分点の利用 平面上での直線の方程式の理解と利用</p>

学習指導要領		都立芝商業高校 学カスタンダード
程 式	<p>置関係などの考察に活用すること。</p> <p>(イ) 円の方程式 座標平面上の円を方程式で表し、それを円と直線の位置関係などの考察に活用すること。</p> <p>イ 軌跡と領域 軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めること。また、簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。</p>	<p>2直線の平行・垂直条件の理解と利用</p> <p>円の方程式の理解と利用 円と直線の共有点から、円と直線の位置関係の考察</p> <p>軌跡の内容は扱わない 不等式の表す領域の理解 連立不等式の表す領域の理解と利用</p>

学習指導要領		都立芝商業高校 学力スタンダード
聞くこと	<p>ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話者に対して、あいづちや聞き直すなどコミュニケーションをとろうとする姿勢をみせることができる。 ・会話中の未知の語句や聞き取ることができない語句に対して、図などを利用し推測することができる。 ・事物の紹介などのとき、細かなことにとらわれず、会話の概要をとらえることができる。 ・英語による簡単な指示や初歩的な発問を聞き取ることができる。
読むこと	<p>イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な挨拶など会話における基本的な表現を聞いて理解することができる。 ・非言語的な情報を利用して話し手の意図を理解し、質問や指示に応じることができる。 ・単語や文章のリズムや発音に注意を払い、集中して聞くことができる。 ・英語を生活言語としている人々の基本的な文化背景について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・英和辞典を使い、教科書中の未知の語句を調べることで英文を読み進めることができる。 ・教科書中の挿絵や図を参考にして、英文を読むことができる。 ・教科書中の未知の語句にとらわれすぎず、英文全体を読み、必要な情報や考えを読み取ることができる。 ・英文中の指示語を意識して、文章の論理展開を理解することができる。 ・教科書の文章で、トピックセンテンスやサポーティングセンテンスの関係を理解することができる。 ・教科書の文章を読み、理解したうえで、自分の意見や感想を伝えることができる。 ・英語で書かれた手紙や電子メールを読むことができる。 ・教科書の文章を、語のつながりを意識して音読することができる。 ・教科書の文章を、モデルCDと同程度の速度で音読することができる。 ・「読むこと」の言語活動に必要な知識として、英語を

学習指導要領		都立芝商業高校 学カスタンダード
話 す こ と	<p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p>	<p>母語としている人々の基本的な文化背景について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の文章の内容を理解し、簡単な英語の質問に YES/NO で答えることができる。 ・教科書で扱った話題や自分の関心があることについて、ワークシートやメモを利用して、英語で相手に伝えることができる。 ・ペアやグループで、身近な話題について学習した事に基づき意見の交換ができる。 ・うまく言えないことがあっても、簡単な表現やジェスチャーなどを用いて考えを相手に伝えることができる。 ・十分な声の大きさと、発音やイントネーションに気をつけて話すことができる。 ・あらかじめ準備した絵や写真を用いて自分の意見や考えを英語で話すことができる。
書 く こ と	<p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の文章について、ワークシートを用いて要約することができる。 ・教科書の文章のトピックセンテンスやキーワードを抜き出すことができる。 ・教科書の文章について、5～10文程度の文章を書くことができる。 ・既習の語句や文法表現を活用し、間違いを恐れずに文章で自分の意見を書くことができる。 ・手紙や電子メールの書き方などの基本的な知識を身に付け、自分の意思を伝えることができる。 ・うまく表現できないことがあっても、平易な語句や表現を用いて書くことができる。 ・必要に応じて、英和辞典や和英辞典を活用して書くことができる。 ・「書くこと」の言語活動に必要となる、英語を母語としている人々の基本的な文化背景について理解する。

学習指導要領		都立芝商業高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたことに対して、繰り返しや説明を求めるなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。 ・聞き取れない単語や未知の語句があっても、前後関係や文脈を考えて、内容を推測するなどして聞き続けることができる。 ・50 語程度の長さの事物に対する紹介や報告などを聞いて、それらに含まれる事実や意見の概要や要点を大まかに捉えて、聞き続けることができる。 ・対話や討論などを聞いて、立場の違いや、それぞれの主張を大まかに捉えて、聞き続けることができる。 ・自然な速さで話された 10 秒程度の対話を聞き、概要や要点を捉えることができる。 ・場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話の主題や話し手の意図を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。 ・基本的な文章のリズムやイントネーション（文全体に及ぶ声の高さの変動）を捉え、話し手の意図や気持ちを把握し、聞くことができる。
読むこと	イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。 ・英和辞典を正しく使いながら、300～400 語程度の教科書の説明、評論、物語、随筆などを読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、前後関係や文脈を考えて、推測しながら

学習指導要領		都立芝商業高校 学カスタンダード
話すこと	<p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p>	<p>ら読み続けることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の文章の単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに注意して、適切な速度と音量で、聞き手に伝わるように明瞭に音読することができる。 ・教科書などの10語程度の文章を、その意味を理解した上で、英語の音声的な特徴などに注意しながら暗唱することができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら教科書の文章を読んで、論理展開を理解することができる。 ・概要や要点を把握するために読んだり、詳細を理解するために読んだりすることができる。 ・教科書の文章について、文と文のつながりや段落の大まかな流れを考えて読み進めることができる。 ・身近な情報（例えば交通機関の時刻表やレストランのメニューなど）が示されている図表を読み取ることができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。 ・英語学習者向けの英字新聞や雑誌、インターネット上の記事を読んで、概要を把握することができる。 <p>・300～400語程度の教科書の文章の内容を理解した後、簡単な英語の質問を聞いて、YES/NO又は単語や語句、短い文で答えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書で扱った身近な話題や自分の興味、関心があることについて、既習の語句や表現を活用

学習指導要領		都立芝商業高校 学力スタンダード
書くこと	<p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p>	<p>して、ワークシートやメモなどを利用しながら、英語で相手に伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで、幅広い話題について、学んだことや経験したことに基づき、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を用いて、情報や考えを相手に伝えることができる。 ・単語の発音に気を付けながら、場面や状況、相手の反応などを踏まえて、リズムやイントネーションを意識して、十分な声の大きさと話することができる。 ・日常生活の様々な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。 ・自分の意見や考えを単に述べるだけでなく、理由や例示を加えて話すことができる。 ・図やグラフなどの資料を使って、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・聞き手を意識し、相手に分かりやすい表現を選んで話すことができる。 ・他の生徒が話したことについて、感想を伝えることができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解することができる。 <p>・既習の語句や表現、文法事項を活用して、学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について 20～50 語程度の文章を書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の文章について、ワークシートなどを用いて要約文を書くことができる。

学習指導要領	都立芝商業高校 学カスタンダード
	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、感想や意見を、その理由とともに20～50語程度で書くことができる。 ・トピック・センテンスやサポーターティング・センテンスの構成を考え、つながりを示す語句を用いながら、文章を書くことができる。 ・身近な情報が示されている図表やデータについての説明を書くことができる。 ・文章を書く前に、自分の考えを整理して、箇条書きで書くことができる。 ・自分で書いた文章を読み直し、既にもっている知識を駆使しながら、読み手の立場に立って分かりやすい文章を書くことができる。 ・必要に応じて英和辞書や和英辞書などを活用して書く。 ・ペアやグループでそれぞれが書いた文章を読み合い、相手が書いた文章についての感想を書くことができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する

学習指導要領		都立芝商業高校 学カスタンダード
(1) 商業の学習ガイダンス	ア 商業を学ぶ目的と知り方	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスが商品の生産・流通・消費にかかわる様々な事業活動であることを知り、将来のスペシャリストを目指して自己の能力を高めるためには、基礎・基本の学習が重要であることを理解する。 ・商業の学習を通して、ビジネスが我々の生活に欠かせないものであることを知り、ビジネスの実践力や豊かな人間性などを身に付けることが重要であることを理解する。 ・卒業後、自らも経済社会の一員としてビジネスにかかわっていくことを意識し、日常生活や将来の職業と関連付けた学習を心掛けるとともに、主体的・継続的な学習態度が重要であることを理解する。 ・のぞましい人間関係、倫理観や責任感、豊かな人間性、創造性、主体性、自己責任など抽象的な概念を具体的に理解する。
	イ 商業の学習分野と職業	<ul style="list-style-type: none"> ・商業で学習するマーケティング、ビジネス経済、会計及びビジネス情報の4分野の概要を知り、各学習の内容がどのような職業に役立っているかを理解する。 ・選択科目として履修する各科目の学習内容と自身の将来の進路希望を結び付けて、科目ごとに習得すべき資格や技能等の目標を定めることができる。 ・自ら考え、自ら学ぶ、基礎基本の大切さ、進路、生涯学習の観点から商業の学び方を理解する。
(2) ビジネスとコミュニケーション	ア ビジネスに対する心構え	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要なビジネスマナーや遵法精神の意義を理解し、挨拶、礼の仕方、電話応対など基本的な所作を身に付けることができる。 ・協調性や倫理観、自己責任など、ビジネスに対する心構えや考え方について理解する。
	イ コミュニケーションの基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの場面に応じた言葉の使い方、話の聞き方、話し方、表情など基礎的なコミュニケーションの方法を理解し、話し相手や時と場所をわきまえた態度、言葉遣いや身だしなみなどが実践できる。 ・コミュニケーションの重要性について具体的に理解する。 ・コミュニケーションには、手段や対象などによって分類できること理解し、いろいろなコミュニケーションについて理解する。 ・よりよい人間関係を築くために、ビジネスマナーがとても重要であることを理解する。 ・自己管理・会社の顔としての意識・身だしなみ・心づかいなどが、社会人としての自覚に重要であることを理解する。 ・あいさつやことばづかいなどの基本的なビジネスマナーについて理解する。 ・電話や来客の場面におけるビジネスマナーをロールプレイングを交えながら身につける。 ・話し方と聞き方のポイントを理解する。

学習指導要領		都立芝商業高校 学カスタンダード
<p>ウ 情報の入手と活用</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの諸活動に必要な情報を様々なメディアや公的機関等から入手する方法を理解し、入手した文字、数値、画像、図表などの情報を利用できるデータとして適切に整理・活用できる。 ・入手できる情報の中には古い情報や誤った内容が含まれている可能性があることを知り、データの信頼性について確認することの重要性を理解する。 ・さまざまな情報源があること、情報の特徴を理解して効率よく情報を集めること、情報の信頼性を見極めることなど情報を入手する際の注意点を理解する。 ・インターネット・新聞・書籍・雑誌・白書・統計資料など、いろいろな情報入手の方法があることを理解する。
<p>(3) ビジネスと売買取引</p>	<p>ア 売買取引とビジネス計算の基礎</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスとしての売買の在り方を知り、取引成立にかかわる契約の締結から履行までの一連の手続きについて理解する。 ・利息、商品代金、外国貨幣、度量衡など、ビジネスに関する基礎的・基本的な計算ができる。 ・売買契約における品質・数量・価格の決め方や受け渡し条件・代金決済の決め方などについて理解する。 ・見積もりと注文の方法について説明する。とくに各種書類の意味について理解する。 ・商品の受け渡しと商品代金の受け払いの方法について理解する。特に各種書類の意味について理解する。 ・割合の表わし方、基準量と比較量、割増しおよび割引の計算について理解する。 ・取引数量と建・建値による商品の代価の計算方法を理解する。 ・仕入原価・値入れと予定売価・値引きと実売価・損益額と損益率など、それぞれの計算について理解する。 ・商品の生産から流通、消費に至る経済活動の仕組みについて理解する。 ・土地、資本及び労働力といった生産要素について理解する。 ・企業、家計及び政府（財政）といった経済主体の役割と、経済の循環について理解する。 ・需用と供給の関係による市場における価格形成について理解し、身近な例を用いて説明できる。 ・ビジネスの場面におけるトレード・オフと機会費用について理解する。 ・代金決済の方法や通貨、小切手、手形、クレジットカード、電子マネーなどの支払用具について、それぞれの特徴や利点、使用時の留意点について理解する。 ・度量衡、貨幣換算、単利と複利、利息と元利合計、利息の日数計算を理解する。

学習指導要領		都立芝商業高校 学カスタンダード
(4) 経 済 と 流 通 の 基 礎	イ 代金決済	<ul style="list-style-type: none"> ・現金通貨の意味について理解する。 ・小切手の意味、振り出し、受け取り、不渡り、線引小切手などについて理解する。 ・約束手形の意味、振り出し、受け取り、不渡りなどについて理解する。 ・為替手形の意味、振り出し、引き受け、受け取り、不渡りなどについて理解する。 ・預金の振替、クレジットカード、デビットカード、電子マネーについて理解する。
	ア 経済の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本の整備、技術革新、雇用機会の増大など、ビジネスの諸活動が経済の発展に寄与する役割について理解し、具体例を挙げて説明できる。 ・サービス経済化や情報化、グローバル化など、我が国のビジネスを取り巻く経済環境の変化について知り、今後のビジネスの発展について考察できる。 ・今日のビジネスが直面する環境問題、エネルギー問題、食料問題などの諸課題について知り、その課題解決に向けたビジネスの在り方について理解する。 ・商品（もの・サービス）の定義を紹介し、経済の仕組み（生産・流通・消費）や経済主体と経済循環などについて理解する。 ・ものまたはサービスを生産するビジネスやものを流通させるビジネス、流通を円滑にするビジネスなど、経済を支えるビジネスに関心を向けさせ、ビジネスの定義および役割を理解する。 ・三大生産要素（土地・資本・労働力）の意味を確認し、これらは限りあるものであること、すなわち希少性概念について理解する。そして、ビジネスは選択の連続であり、トレードオフおよび機会費用という経済学上の概念を理解することが重要であることを認識する。
	イ ビジネスの役割と発展	<ul style="list-style-type: none"> ・生産と消費の隔たりについて理解し、その隔たりを解消するための流通の意義や機能について説明できる。 ・生産から消費に至る流通の役割分担の変化を知り、小売商や卸売商などの役割について理解する。 ・今日の商品流通の仕組みと機能を知り、マーケティングの意義と役割について理解する。 ・生産者、卸売業、小売業、金融業、保険業、運輸業、情報通信業など、生産から消費の過程にかかわるビジネスの担い手の概要や役割について理解する。 ・サービス経済化の意味と特徴を理解する。 ・情報化の進展にともないビジネスの世界では、情報セキュリティや情報モラルなどの課題があることを理解する。 ・グローバル化がビジネスにどのように影響しているか、その概略を理解する。

学習指導要領		都立芝商業高校 学カスタンダード
ウ 経済活動と流通		<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題やエネルギー問題、食料問題などの課題に対して、ビジネスがどのように対応しようとしているか、その概略を理解する。 ・生産と消費の隔たりを橋渡しすることが流通の役割であることを理解する。 ・生産と消費の間には、人的・場所的・時間的隔たりがあることを理解し、その隔たりを解消する商的流通と物的流通を理解する。さらに、流通の担い手の概略を理解する。 ・流通機構や流通経路など流通の仕組みについて理解する。特に後者については、生活用品と産業用品に分けて理解する。 ・消費者ニーズが多様化（高級化・個性化など）していること、小売業が業種から業態に重点を置くようになったこと、電子商取引が活発になっていること、デジタルコンテンツビジネスが進展していること、顧客満足の実現に立つマーケティングが求められていることなど、流通をとりまく環境の変化について具体的に理解する。
エ ビジネスの担い手		<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの担い手である企業の役割や現在の動向について理解し、企業に求められる社会的責任や倫理について説明できる。 ・消費者ニーズを満たす製品を製造して市場に提供することが、ものの生産者の基本的な役割であることを理解する。 ・ものの生産者には、農業・林業・漁業などや原材料を加工して製品を作る製造業などがあるが、ここでは製造業について理解する。 ・消費者保護を目的として製造物責任法などが、また、自然環境などに配慮して容器包装リサイクル法などが施行されていることを理解する。 ・商品開発と新たな技術の活用を具体例を理解する。グローバル化に伴う動向については、各種統計資料を活用できるようにする。 ・サービスの生産者を具体的に理解する。サービスの生産とはサービスの提供を意味していることを理解する。 ・サービスの生産者の種類を「日本標準産業分類」などを活用し理解する。また、形のない商品（サービス）について広く理解する。 ・サービスの生産者は、サービスの質の向上とコストの引き下げに努力するビジネスを展開していることを理解する。 ・ライフスタイルの変化に対応してサービス業が成長していること、業務委託の増加に伴いサービス業も拡大していること、製造業とサービス業の融合がみられることなど動向を理解する。 ・小売業者には、商品の販売のほか、情報提供や地域コミュニティの形成・地域文化の形成など広い役割があることを理解する。 ・業態別の分類の観点から、小売業者は店舗販売と無店舗販売に大別できることを理解し、それぞれの種類を理解する。 ・商店街やショッピングセンターなど小売業者の集まり、小売業者のチェーン化などの現状を理解する

学習指導要領	都立芝商業高校 学カスタンダード
	<ul style="list-style-type: none"> ・通信販売の進展や巨大流通グループの誕生など、今日の小売業者の動向を理解させ、国による街づくりのしくみを理解する。 ・卸売業者の基本的な役割のほかに、生産者や小売業者への情報提供などの役割があることを理解する。 ・商品流通における卸売業者の収集機能・仲継機能・分散機能の3つの機能によって分類できることを理解する。 ・生産者などから商品を仕入れ、それを小売業者に販売するというビジネスを行うことが卸売業者の基本的な役割であることを理解する。 ・卸売業者の役割が低下していることを理解させるとともに、卸売業者がその地位の確保に努力している現状を理解する。 ・消費者と生産者との間、場所的・時間的隔たりを解消するのが物流の役割であることを理解させる。輸送・保管・荷役などについて理解する。 ・物流業者には、輸送業者と倉庫業者があることを理解させ、それぞれの具体的業務を理解する。 ・自動車輸送業者を例に挙げ、幅広くビジネスを展開している現状を理解する。 ・物流の情報ネットワーク化と物流のシステム化の動向を具体的に理解する。 ・資金の需給を調整し、企業などが必要とする資金を供給することが金融業者の役割であることを理解する。 ・民間金融機関・政府系金融機関・中央銀行に大きく分類できることを理解し、民間金融機関を中心に種類を理解する。 ・普通銀行・証券会社・保険会社のそれぞれのビジネスについて、その基本的な業務や仕組みなどを理解する。 ・金融ビッグバンに始まる規制緩和により、金融機関の業務の多様化が進展している動向などを理解する。 ・情報通信の技術開発やネットワークを構築し、サービスとして提供するのが情報通信業者の役割であることを理解する。 ・情報通信業のおもな担い手として、通信業者と情報サービス業者があることを理解する。 ・固定電話・移動体通信関連とインターネット関連、さらに情報サービス関連に分けて、情報通信業者のビジネスを理解する。 ・デジタル化による伝達方法の変化や情報通信技術の高度化など情報通信業者の動向を理解する。

学習指導要領		都立芝商業高校 学カスタンダード
(5) 企 業 活 動 の 基 礎	ア 企業の形態と経営組織	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスにかかわる様々な企業の形態と経営組織の種類と特徴について説明できる。 ・新たなビジネスの創造や起業家精神、企業経営の指針となる経営理念について理解し、その重要性について説明できる。
	イ 資金調達	<ul style="list-style-type: none"> ・企業活動に必要な資金の調達方法とその特徴について理解する。 ・ビジネスに必要な資金には、運転資金と設備資金があることを理解し、それぞれの資金の意味を理解する。 ・各種の資金調達の方法があることを理解し、特に社債の発行と株式の発行による資金調達を理解する。
	ウ 企業活動と税	<ul style="list-style-type: none"> ・企業活動にかかる税の種類と概要、及び申告と納付の概要について理解する。 ・税の意味と法人税・住民税・事業税・固定資産税・消費税の概略を理解する。 ・申告納税方式について、その概略を紹介する。
	エ 雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国における企業の雇用形態の特徴について理解する。 ・雇用の安定や福利厚生など雇用に伴う企業の責任について理解する。 ・雇用の意義について、賃金・雇用契約・失業率などを理解する。 ・わが国における雇用の特徴について、終身雇用・年功序列・成果主義賃金制度・労働組合などを理解する。 ・正規雇用と非正規雇用について説明し、特に後者の雇用の現状を理解し、その問題点を考える。 ・福利厚生制度を理解する。 ・今日の雇用には、さまざまな課題があるなか、すべての人が誇りをもって働くことができる環境をつくるのが、企業に求められていることを理解する。